

# 有機EL素子の光取り出し効率を大幅にアップ。

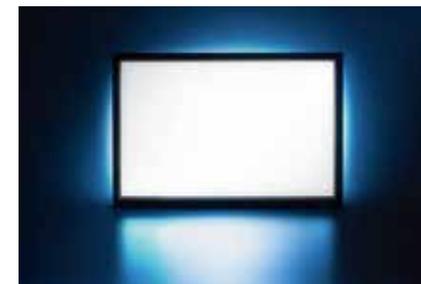
## 概要

- 発光体上側の透明膜表面に、発光波長に近い形状の凹凸を設け、発光体からの光が透明保護膜表面で全反射することを制御し、発光素子の光取り出し効率を大幅に向上させる。



## 活用

- 有機ELを用いたディスプレイ、光源。



## 特徴

- 発光波長に近いサイズの凹凸を透明保護膜に設けることにより、発光素子の光取り出し効率を高める。保護膜上に設けられた凹凸は規則的な配置ではなく、ランダムに配置されているので、光が出てきた方向による光強度分布に偏りがなく、安定した光源となる。

